

青丸くん 子葉が緑色の青豆で、倒れにくくコンバイン収穫に適しています。

1 加工適性

(1) 加工上の長所・短所

- ・種皮は淡緑色、子葉は緑色です。
- ・粒の大きさは「スズカリ」よりやや小さい「中」に属し、粗蛋白質含有率と粗脂肪含有率は「スズカリ」と同じ「中」に分類されます。
- ・豆腐製造では、独特の風味がある薄緑色の豆腐が製造できます。

(2) 品質に関するデータ

項目	青丸くん	スズカリ(比較)
粒大	中	中の大
百粒重(g)	25.6	27.9
へその色	緑	黄
外観品質	中の上	中の上
裂皮の難易	中	中
成分組成		
粗蛋白質含有率(%)	42.5	42.9
粗脂肪含有率(%)	19.4	21.8

(3) 主な用途における加工適性試験成績

- ・豆腐加工適性試験の成績（平成13年、豆腐製造業A社）

項目	青丸くん	枝豆用青豆品種A (青豆、比較)	フクユタカ (黄豆、比較)
豆乳抽出率(%)	79.8	80.6	83.0
豆乳固形分(%)	9.89	9.88	9.67
豆乳色調			
L	72.5	72.9	79.5
a	-6.8	-4.6	-1.6
b	14.0	13.3	11.7
豆腐の破断強度 (g/cm ²)			
硫酸Ca	81	81	99
塩化Mg	57	63	80
GDL	62	82	104
コメント	豆腐の外観は鮮やかな緑色であり、やわらかく粘りのある食感で、甘みが強くコクも感じられた	柔らかく粘りのある食感で、甘味が非常に強くコクも感じられた	しっかりとした食感で、甘味、コクが感じられた。

2 栽培特性

(1) 栽培上の長所・短所

- 長所：・倒伏しにくく、莢もはじけにくいので機械化収穫が容易です。
・成熟期は「スズカリ」よりもやや早い「中生の早」に属し、現在、岩手県で作付けされている枝豆用市販青豆品種よりもかなり早熟で安定多収です。
- 短所：・ダイズモザイクウイルスのA, B病原系統に抵抗性を持ちません。
・ダイズシストセンチュウに弱いです。
・通常の黄豆品種に比べると低収です。

(2) 栽培特性に関する育成場所での試験結果

項 目	青丸くん	スズカリ(比較)
収量(kg/10a)	19.7	27.3
早晩性	中生の早	中生
コンバイン収穫適性		
裂莢性	難	中
耐倒伏性	強	強
最下着莢節位高	中	中
病虫害抵抗性		
ダイズモザイク病	中	中
ダイズシストセンチュウ	弱	強

3 栽培地域（平成21年産）

岩手県 24ha

4 栽培上の留意点

- ・青豆としての特性を維持するため、できる限り本品種単一の集団栽培を行い、他品種との自然交雑を避けて下さい。
- ・ダイズモザイクウイルスのA, B病原系統に抵抗性を持たないので、これら系統が発生する地域では、種子更新により無病種子を使用するとともに、アブラムシ防除に努めて下さい。
- ・ダイズシストセンチュウに対する抵抗性がないので、発生地帯での作付けは避けるとともに、適切な輪作を行って下さい。

育成場所：東北農業研究センター（平成14年育成）
問い合わせ先：東北農業研究センター水田利用部大豆育種研究室
tel 0187-75-1043 fax 0187-75-1170